

2024年度  
(令和6年度)

紋別市における景気動向調査

＜第4四半期＞

報 告 書

紋別商工會議所

# 目 次

## I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間	1
2. 調査対象	1
3. 回収状況	1

## II. 概況

1. 全体の動き	2
(1) 今期の業況	2
(2) 部会別の動向	3
2. 今期の動向	
(1) 今期の売上高・生産高	6
(2) 今期の採算	7
(3) 今期の資金繰り	8
(4) 今期の在庫水準	9
(5) 今期の借入金の金利水準	10
(6) 設備投資の実施状況	10
3. 来期の見通し	
(1) 来期の業況見通し	11
(2) 来期の売上高・生産高見通し	11
(3) 来期の資金繰り見通し	12

## III. 各指標

1. 各指標	12
--------	----

# I. 調査要領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2025年4月15日  
(2) 調査対象期間 2025年1月～3月期の実績および2025年4月～6月期の見通しについて調査した。

## 2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

## 3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	14社	46.7%
水産業部会	30社	16社	53.3%
機械工業部会	30社	15社	50.0%
建設業部会	30社	21社	70.0%
観光・サービス業+諸業部会	30社	20社	66.7%
合 計	150社	86社	57.3%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

## II. 概況

—前年同期から若干の悪化。次期は回復する見通し—

### 1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(2025(令和7)年1月~3月)の全業種平均DI値**（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、▲27.9となり、前年同期(R6.1~3月▲25.3)と比べると、**2.6ポイント悪化**となりました。

各部会における前年同期との比較は以下の通りです。

	前年同期 (R6.1~3月)	今期 (R7.1~3月)	増減幅
商業+食品業部会	▲16.6	▲35.7	▲19.1 (悪化)
水産業部会	▲64.3	▲18.8	45.5 (回復)
機械工業部会	▲20.0	▲33.4	▲13.4 (悪化)
建設業部会	26.3	▲19.1	▲45.4 (悪化)
観光・サービス業+諸業部会	▲5.2	▲35.0	▲29.8 (悪化)

今回の調査では、前年同期と比べると、水産業は**大幅な「回復」**、水産業を除く他業種は**大幅な「悪化」**となりました。水産業は2023年8月からの「ALPS処理水」の海洋放出による中国向け輸出の制限影響により、前年同期では▲64.3という値を示していましたが、今期までに一定程度回復していることが伺えます。

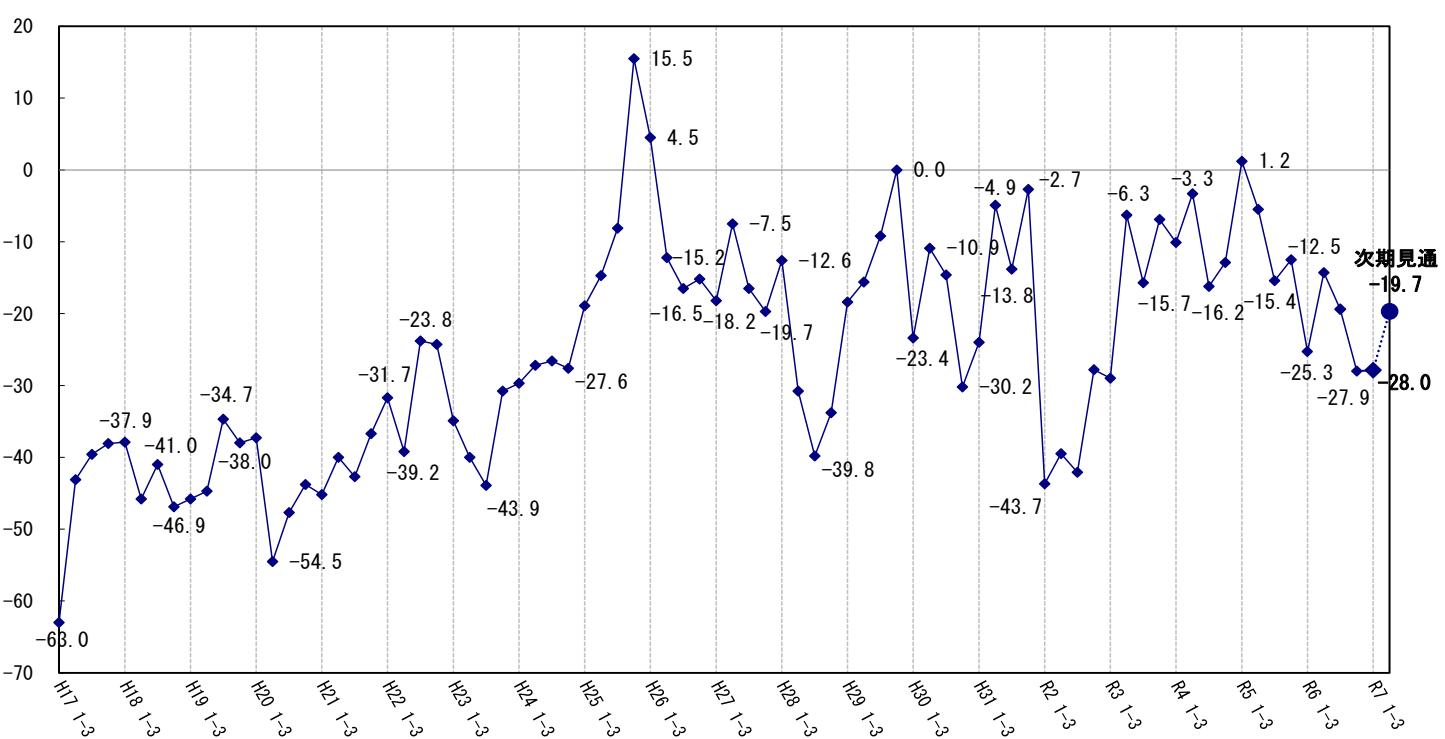
全業種の経営上の問題点として、「原材料・材料・仕入単価の上昇」、「経費の増加」、「従業員の確保難」を訴える声が多くなっており、全業種で材料単価・仕入単価等のコスト上昇の影響が、業況の停滞につながっていると考えられます。

**次期(2025年4月~6月)の見通し**については、**業況判断DIが▲19.7と今期より回復する見通し**となっています。

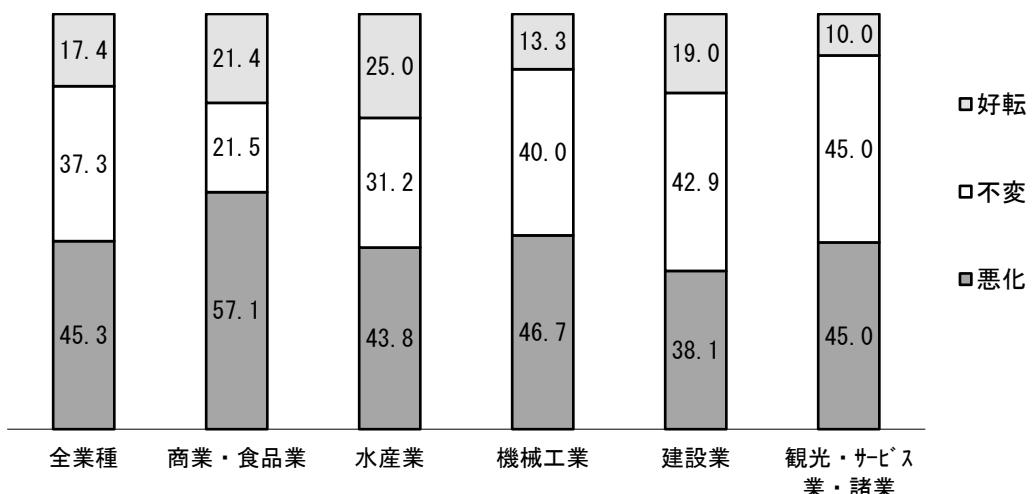
### 紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転-悪化)

前年同期比



## 今期の業況（前年同期比）



### ■部会別の動向

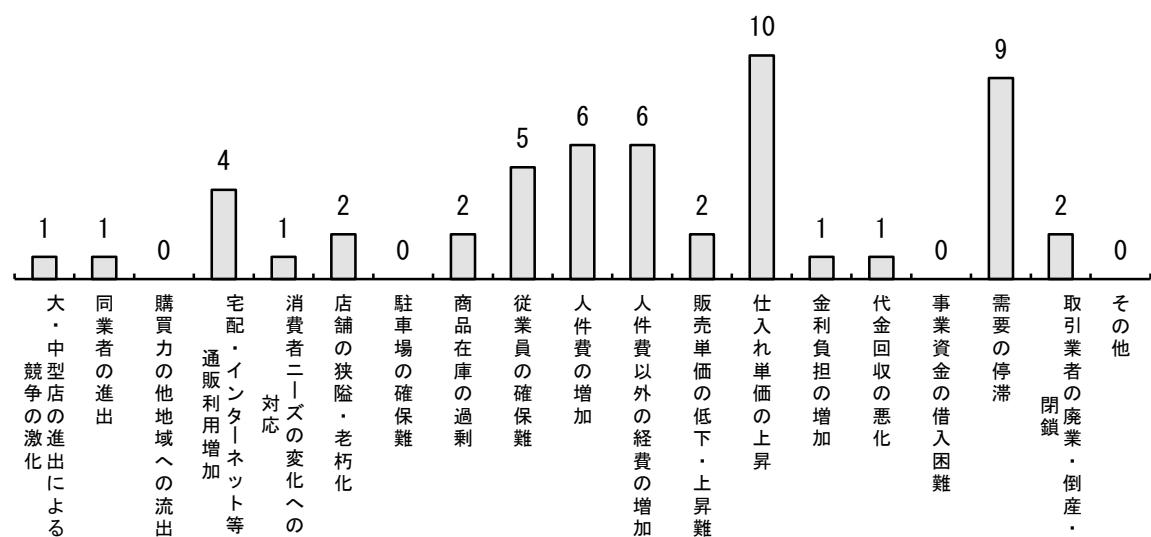
#### 【商業・食品業部会】 [業況判断 DI 値 (前年同期比) ▲35.7 (前年 DI 値▲16.6、来期見通し▲57.2) ]

業況 DI 値 (前年同期比) は、前年同期と比べて 19.1 ポイント悪化しました。特に、物価高騰による消費の落ち込みが大きな影響を与えており、回答企業の過半数が「需要の停滞」や「仕入単価の上昇」を経営上の課題として挙げています。紋別市が全市民に配布した「紋別市消費拡大クーポン券」などの物価高騰に対する支援策も講じられましたが、厳しい状況となりました。次期の見通しについては、▲57.2 と今期よりさらに大きな悪化が予想されており、消費者の節約志向は今後も続くと見込まれています。また、経営上の問題としては前述の項目に加え、「人件費の増加」、「人件費以外の経費の増加」を挙げる声が多くなっています。

#### 《業界の問題点等》

- ・主力商品のコメの値上げにより一部商品値上げをし、その影響で売上高が上昇したものの、商品の値上げだけでは対応が難しく、このまま 1 年以上続くととても心配。(食料品製造業)

#### 経営上の問題点 (商業・食品業部会)

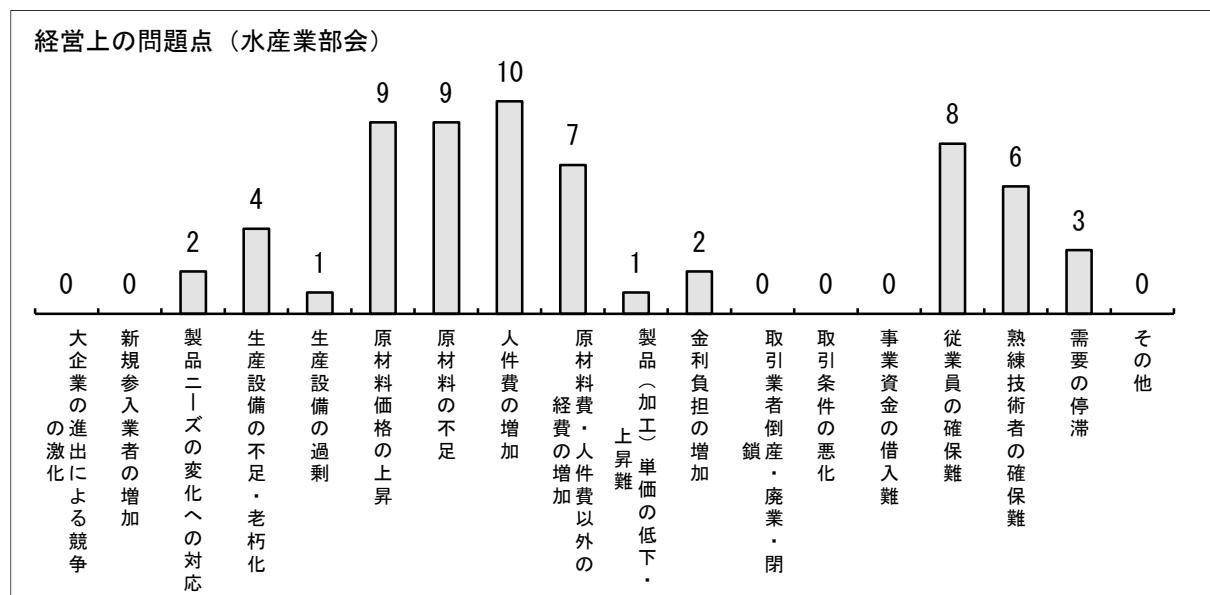


## 【水産業部会】 [業況判断 DI 値 (前年同期比) ▲18.8 (前年 DI 値▲64.3、来期見通し▲6.2)]

業況判断 DI 値 (前年同期比) は、45.5 ポイントの大幅な回復となりました。前年同期は、「ALPS 处理水」の影響により日本産水産物の対中輸出が制限され、その影響で業況が大きく悪化していましたが、今期は新たな取引先の確保などにより、業況の回復につながりました。しかしながら、原材料の不足や価格の上昇、さらにはコスト増の影響により、業況 DI 値は依然としてマイナス圏にとどまっています。次期の見通しについては、▲6.2 と、さらなる業況回復が見込まれています。経営上の課題としては、「人件費の増加」、「原材料の不足」、「原材料価格の上昇」を挙げる声が多くなっています。

### 《業界の問題点等》

- ・人口減少が進む中、地元への流動人口をいかに増やせるかがポイントだと思う。(水産加工)
- ・アメリカの関税の影響が心配である。(水産加工)
- ・原料確保難。(水産加工)

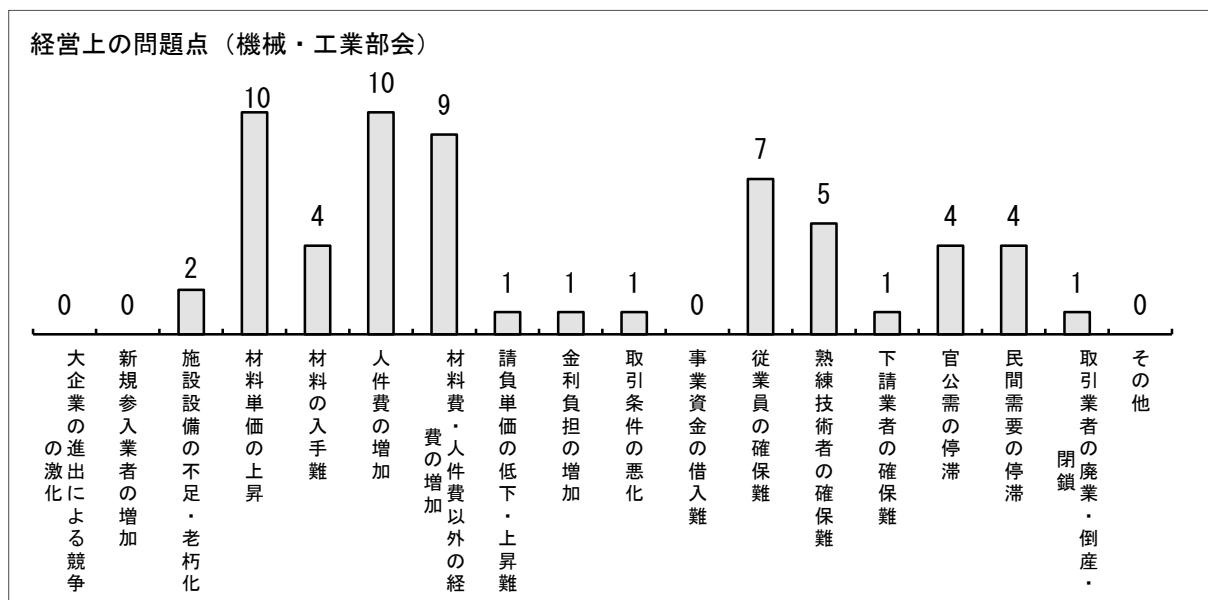


## 【機械工業部会】 [業況判断 DI 値 (前年同期比) ▲33.4 (前年 DI 値▲20.0、来期見通し▲46.7) ]

業況判断 DI 値 (前年同期比) は、13.4 ポイントの悪化となりました。今期も引き続き、多くの回答企業が、円安や燃料価格の高騰による「材料単価の上昇」を経営上の問題点として挙げており、これが業況悪化の主な要因と考えられます。加えて、エネルギーコストの増加も収益を圧迫するなど、厳しい経営環境が続いている。次期の業況見通しは▲46.7 とさらなる悪化が予想されています。経営上の問題点としては、「材料単価の上昇」、「人件費の増加」、「人件費以外の経費の増加」を挙げる声が多くなっています。

### 《業界の問題点等》

- ・官公庁の停滞と民間需要の停滞が目に余る。(製造販売)
- ・自動車販売店の統廃合が全道的に進められており、それに伴い、配置転換によって人員や技術者を確保できる場合がある。一方、整備専業者では、従業員の高齢化と中堅人材の不足が依然として大きな課題となっている。(自動車小売)

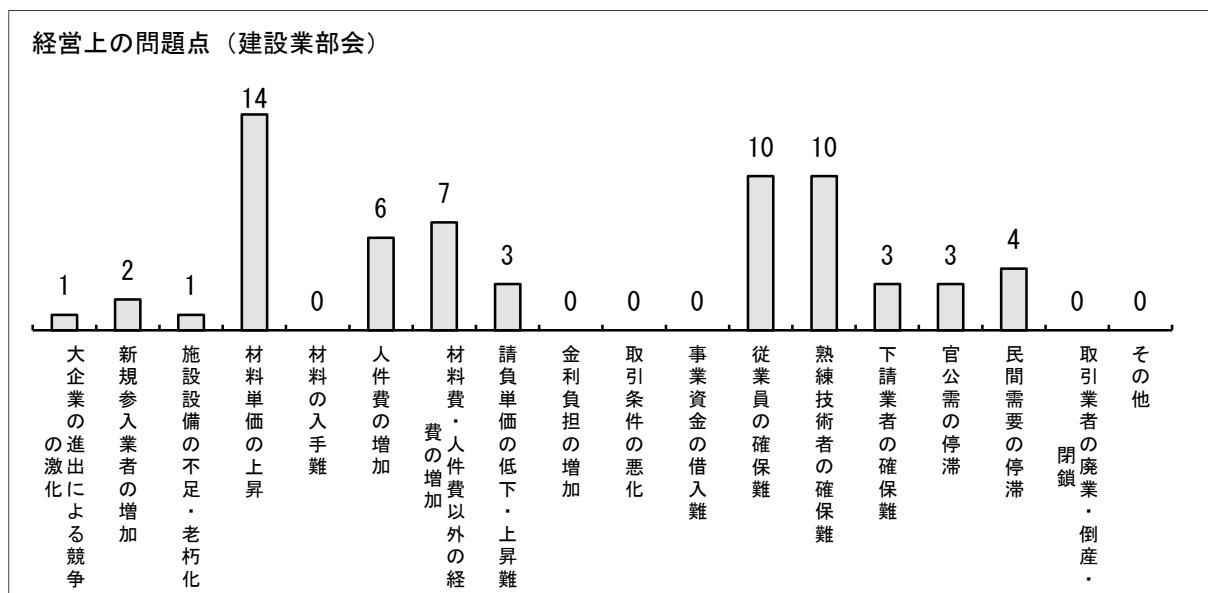


### 【建設業部会】 [業況判断 DI 値（前年同期比）▲19.1（前年 DI 値▲26.3、来期見通し 14.3）]

業況判断 DI 値（前年同期比）は、7.2 ポイントの回復となりました。資材価格の高止まりや運送費の上昇が経営を圧迫しています。また、「従業員の確保が難しい」との声が多く寄せられており、人手不足は引き続き深刻な課題となっています。特に、熟練技術者の高齢化が進んでおり、若年層の担い手確保も大きな課題となっています。次期の業況見通しは 14.3 と、今期以上の大幅な回復が見込まれており、市役所新庁舎の建設など、公共工事の受注機会増加の期待を込めた見通しとなっています。経営上の問題点としては、「材料単価の上昇」、「従業員の確保難」、「熟練技術者の確保難」を挙げる声が多くなっています。

### 《業界の問題点等》

- 従業員の確保難が今後も最大の課題。高齢化により減少が続き、このままだと事業縮小するしかない。（土木工事）

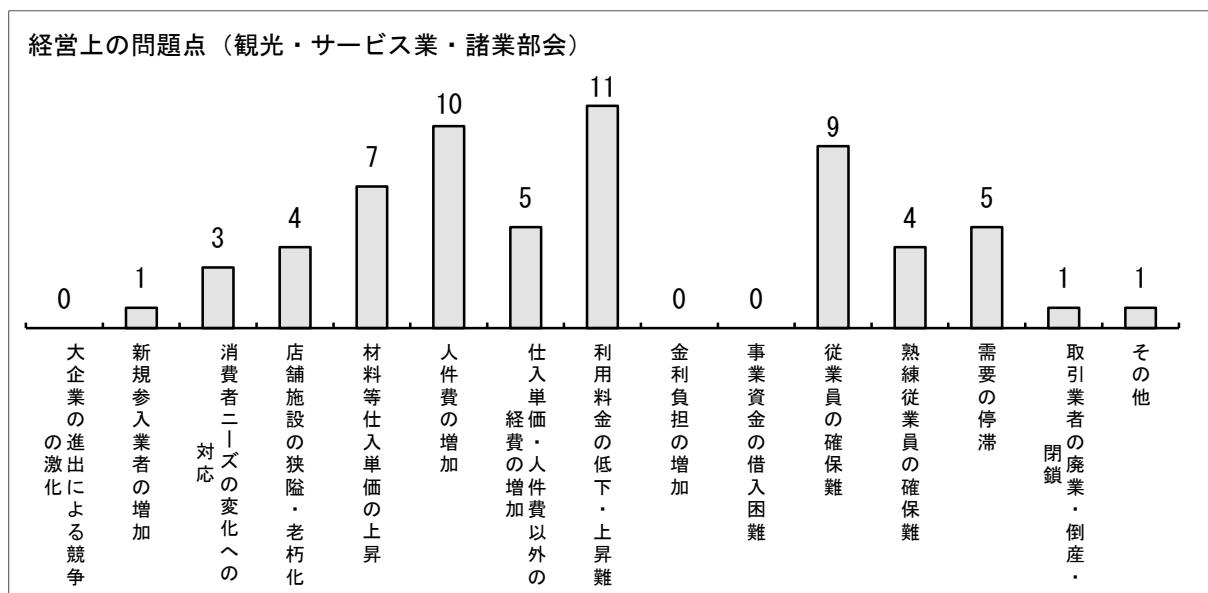


## 【観光・サービス業・諸業部会】 [業況判断DI値(前年同期比) ▲35.0 (前年DI値▲5.2、来期見通し▲20.0)]

業況判断DI値(前年同期比)は、29.8ポイントの悪化となりました。全体的に業況が悪化していますが、とくに飲食業、介護業、貨物運送業において悪化を示す回答が顕著でした。これらの業種では、利用料金の上昇難を課題として挙げる企業が多く、なかなか価格転嫁できない状況が、収益を圧迫しています。来期の業況見通しについては、▲20.0と回復が見込まれているものの、依然として厳しい状況が続くと見られます。経営上の問題点としては、「従業員の確保難」、「人件費の増加」、「利用料金の低下・上昇難」を挙げる声が多くなっています。

### 《業界の問題点等》

- ・物価上昇が激しく、価格転嫁しきれずに減収。物価上昇対策を願いたい。(飲食業)
- ・燃料代高騰。(旅客運送業)
- ・運転手の確保が困難、運賃が適正でない。(貨物運送業)
- ・人材確保難。(スナック)
- ・人材不足、国や市の理解不足。(訪問介護事業)

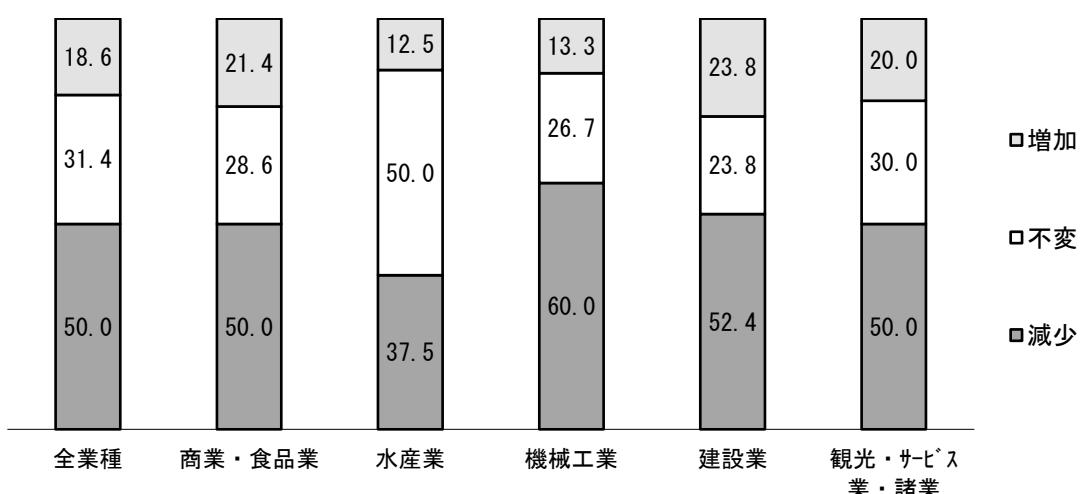


## 2. 今期の動向

### (1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】(2024(令和6)年1月～3月期の水準と比較した今期の売上高)

#### 今期の売上高・生産高(前年同期比)

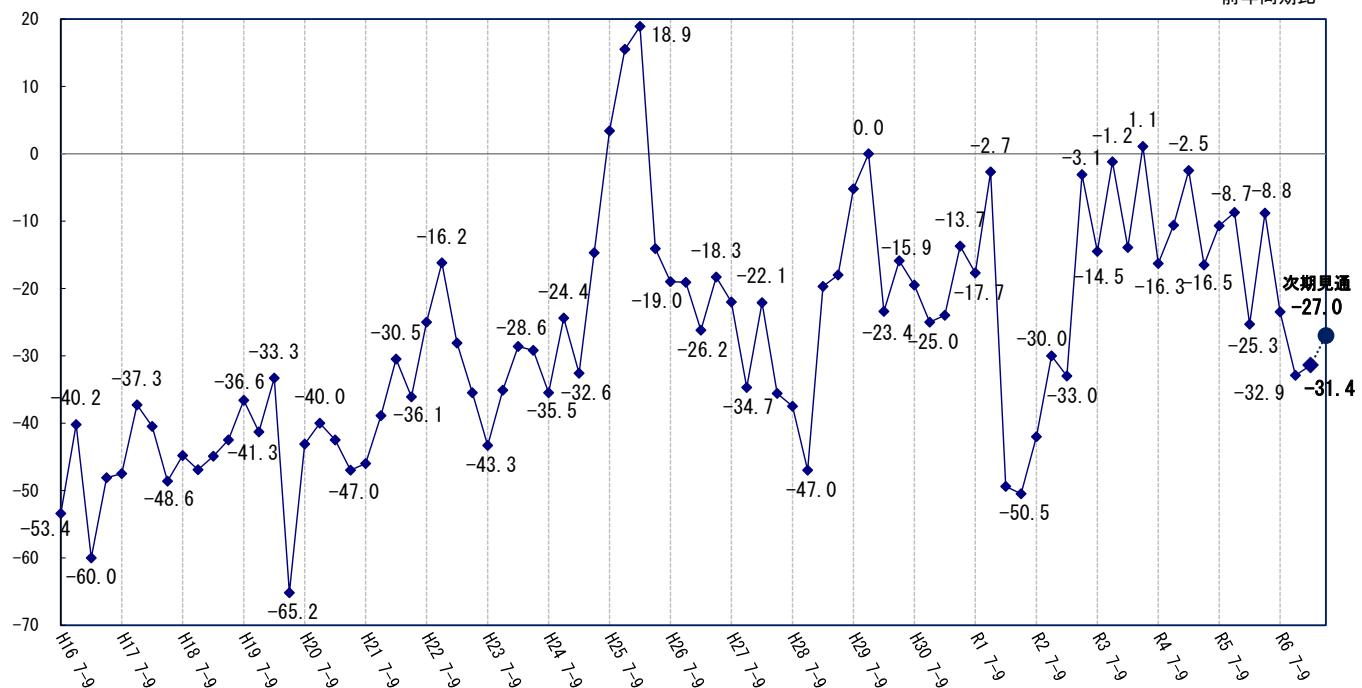


## 売上高・生産高推移（全業種平均D・I）

(増加-減少)

D・I

前年同期比



全業種平均で DI 値▲31.4 [前年同期 (令和 6 年 1~3 月期 ▲25.3) より 6.1 ポイント悪化]、水産業が大幅な回復。建設業が回復。商業・食品業、機械工業、観光・サービス・諸業が大幅な悪化。

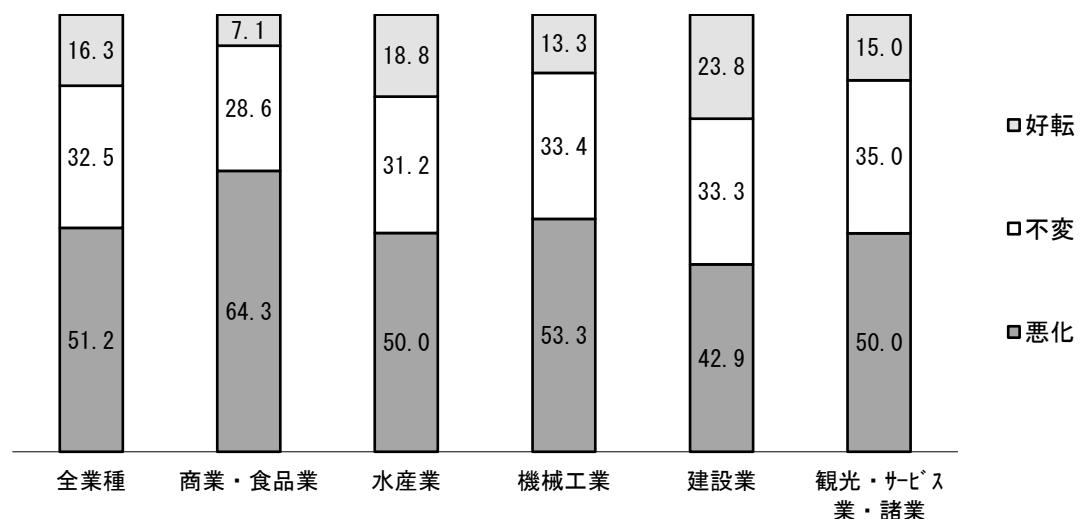
[部会別 DI 値]

商業・食品業 [前年 0.0→▲28.6]、水産業 [前年▲71.4→▲25.0]  
機械工業 [前年▲13.3→▲46.7]、建設業 [前年▲36.8→▲28.6]  
観光・サービス業・諸業 [前年▲5.2→▲30.0]

### (2) 今期の採算

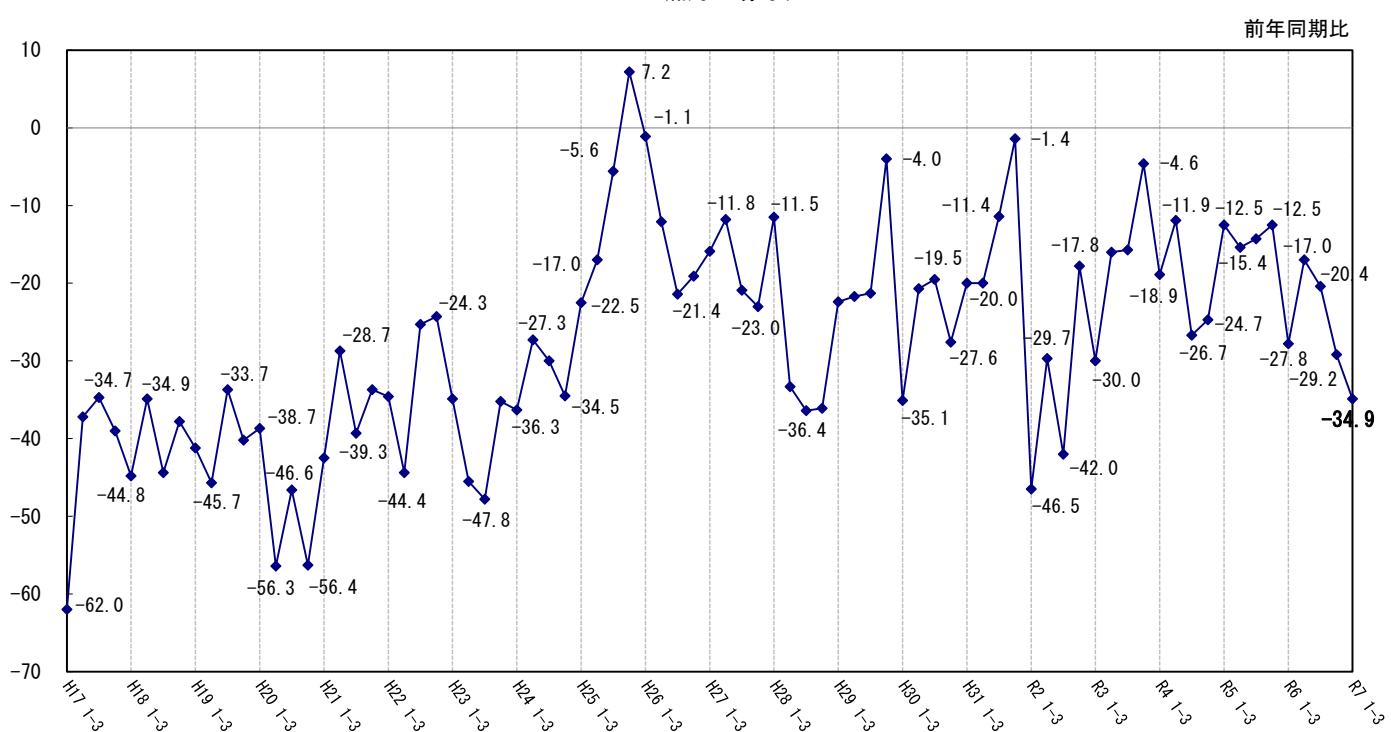
【前年同期比】(2024 (令和 6) 年 1 月~3 月期の水準と比較した今期の採算水準)

#### 今期の採算（前年同期比）



## 採算推移（全業種平均D・I）

(黒字-赤字)



全業種平均で DI 値▲34.9 [前年同期 (令和 6 年 1~3 月期 ▲27.8) より 7.1 ポイント悪化]  
水産業、建設業が回復。商業・食品業が悪化。商業・食品業、建設業が大幅な悪化。

### [部会別 DI 値]

商業・食品業 [前年▲16.6→▲57.2]、水産業 [前年▲71.4→▲31.2]

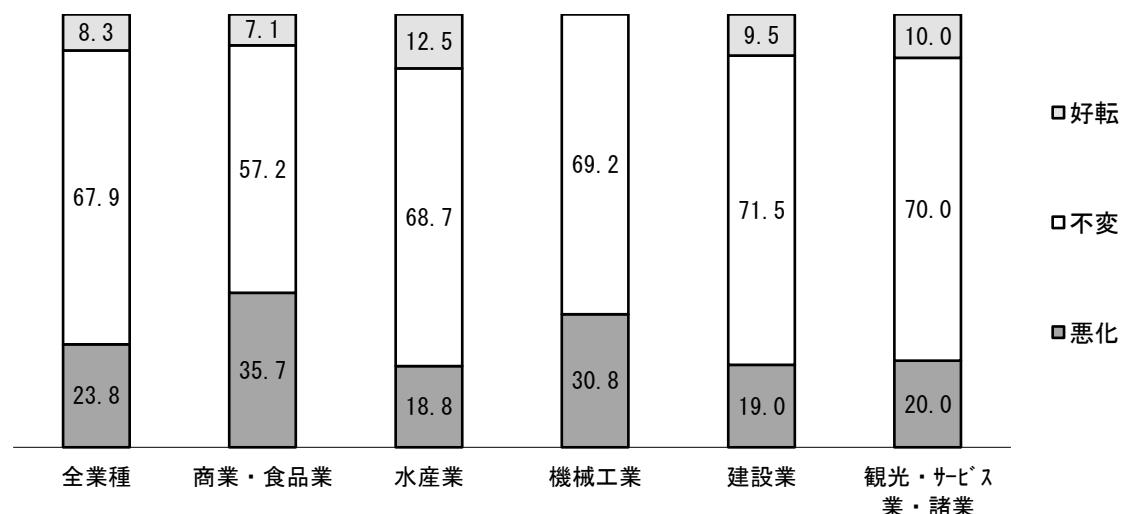
機械工業 [前年▲6.7→▲40.0]、建設業 [前年▲36.9→▲19.1]

観光・サービス業・諸業 [前年▲10.5→▲35.0]

### (3) 今期の資金繰り

【前年同期比】(2024 (令和 6) 年 1 月～3 月期の水準と比較した今期の資金繰り)

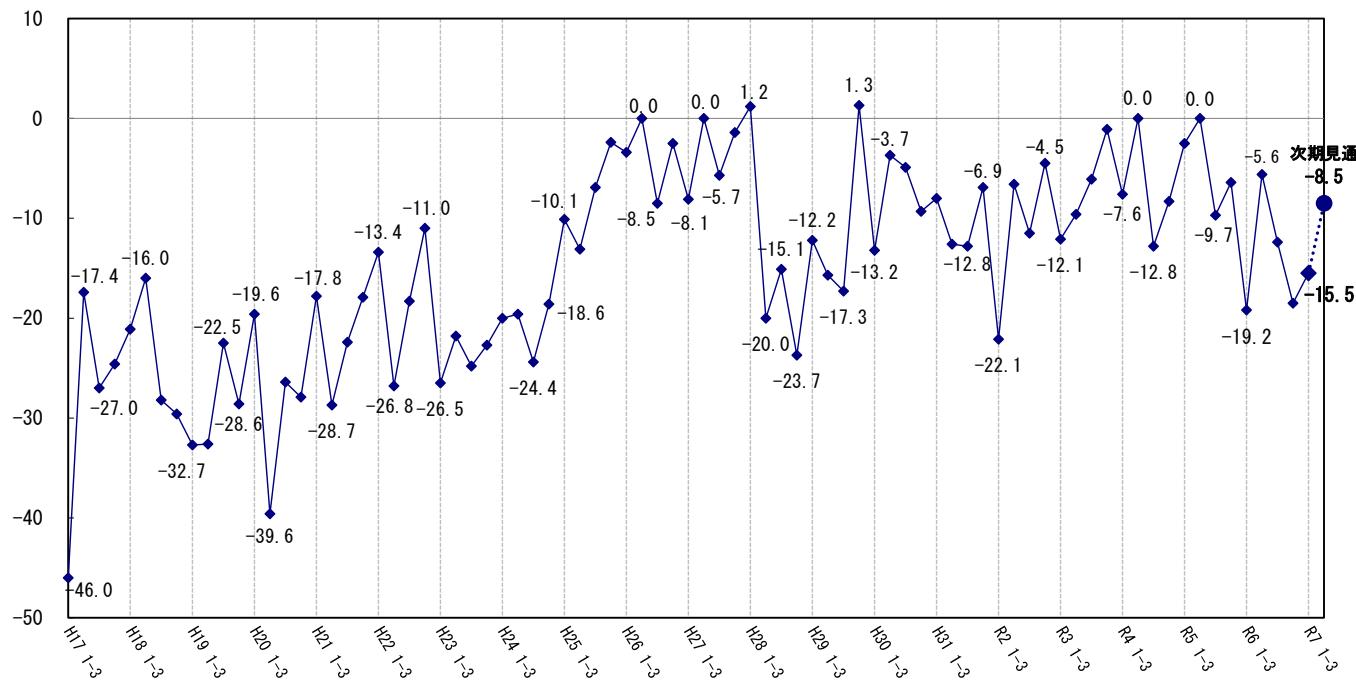
#### 今期の資金繰り（前年同期比）



## 資金繰り推移（全業種平均D·I）

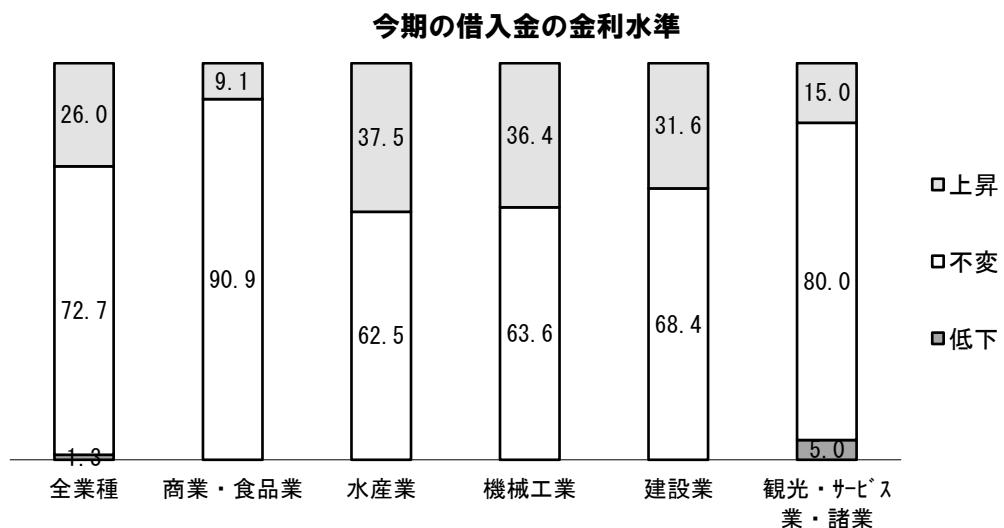
(好転－悪化)

前年同期比



## (5) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】(2024 (令和6) 年1月～3月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準)



全業種平均で **24.7**。前年同期(令和6年1～3月期 4.0)よりも 20.7 ポイント上昇している。水産業、機械工業、建設業、観光・サービス業・諸業が上昇。商業・食品業は微減。

### [部会別 DI 値]

商業・食品業 [前年 10.0→9.1]、水産業 [前年 0.0→37.5]

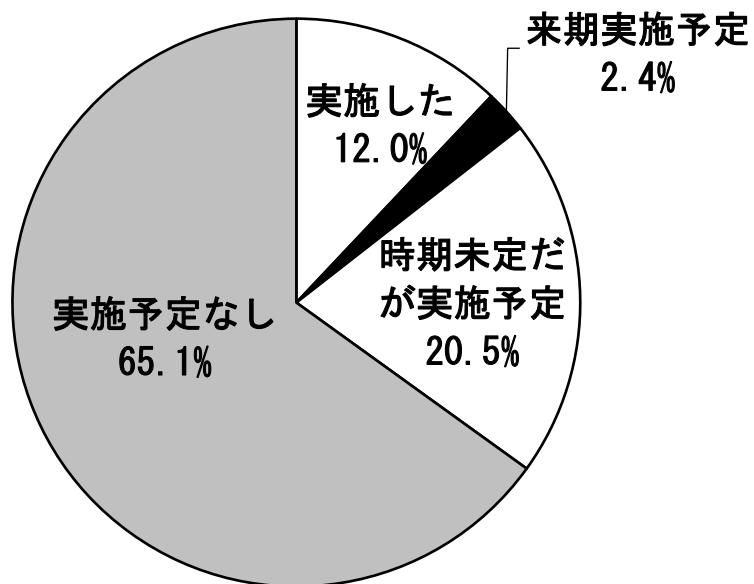
機械工業 [前年 7.1→36.4]、建設業 [前年 0.0→31.6]

観光・サービス業・諸業 [前年 5.2→10.0]

## (6) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

### 設備投資の実施状況

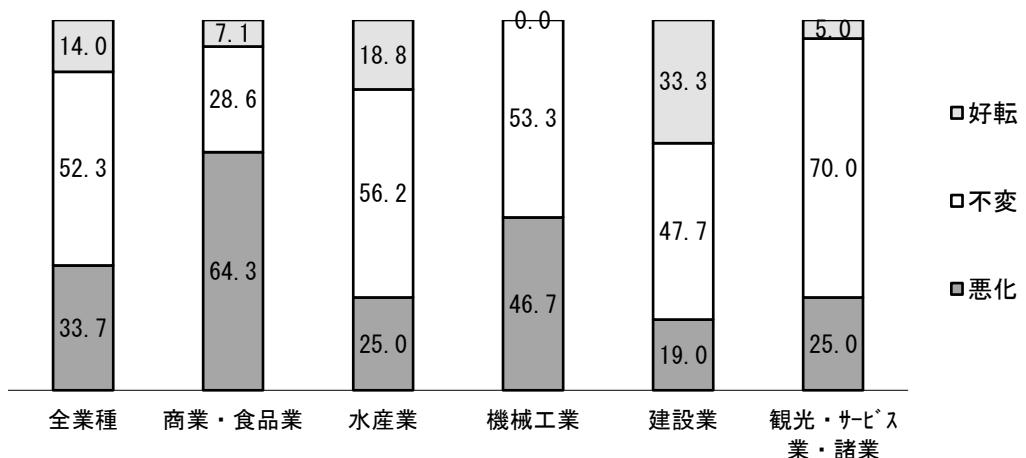


### 3. 来期の見通し

#### (1) 来期の業況

【今期比】(2025 (令和 7) 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の業況見通し)

次期の業況見通し (今期比)

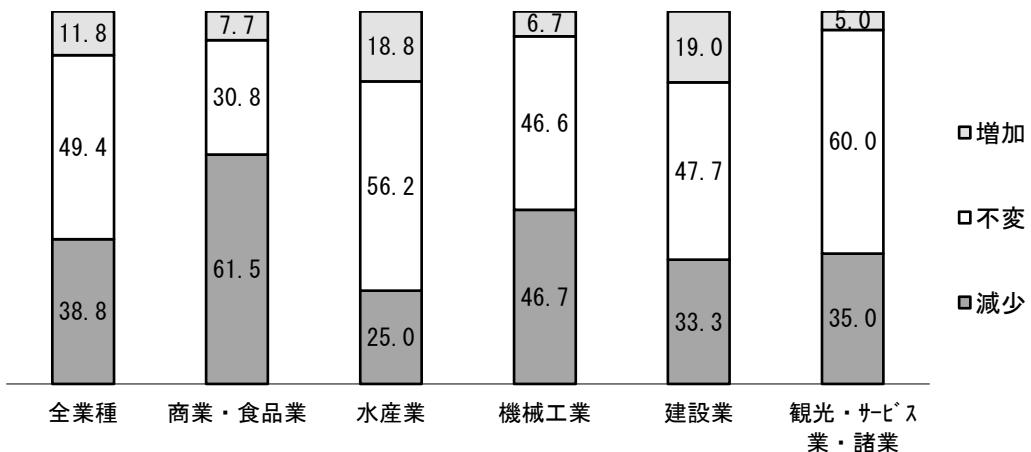


全業種平均 DI 値▲19.7 [今期の業況 (前年同期比▲25.3) より 5.6 ポイント悪化の見通し]

#### (2) 来期の売上高・生産高

【今期比】(2025 (令和 7) 年 1 月～3 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し)

次期の売上高・生産高見通し (今期比)

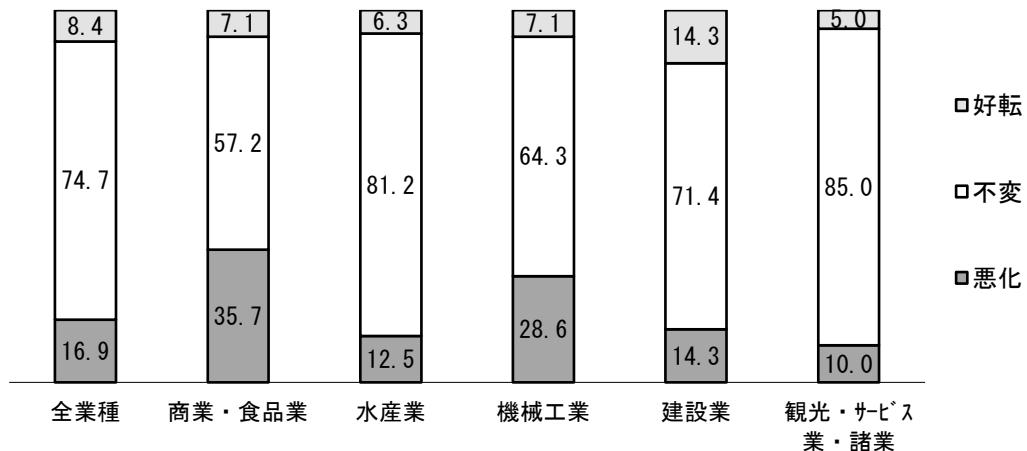


全業種平均 DI 値▲27.0 [今期の売上高・生産高 (前年同期比▲32.9) より 5.9 ポイント回復の見通し]

### (3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】(2025 (令和7) 年1月～3月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し)

#### 次期の資金繰り見通し (今期比)



全業種平均 DI 値 **▲8.5** [今期の資金繰り (前年同期比▲12.3) より 3.8 ポイント回復の見通し]

### III. 各 指 標

		全 体	商 業 食品業	水産業	機械工業	建設業	観光サービス業 ・諸業
業況判断 D・I	今期実績	▲27.9	▲35.7	▲18.8	▲33.4	▲19.1	▲35.0
	来期見通し	▲19.7	▲57.2	▲6.2	▲46.7	14.3	▲20.0
売上・生産 D・I	今期実績	▲31.4	▲28.6	▲25.0	▲46.7	▲28.6	▲30.0
	来期見通し	▲27.0	▲53.8	▲6.2	▲40.0	▲14.3	▲30.0
在 庫 D・I	今期実績	▲20.7	▲14.3	▲26.6	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今期実績	▲34.9	▲57.2	▲31.2	▲40.0	▲19.1	▲35.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲15.5	▲28.6	▲6.3	▲30.8	▲9.5	▲10.0
	来期見通し	▲8.5	▲28.6	▲6.2	▲21.5	0.0	▲5.0
借 入 金 金利水準 D・I	今期実績	24.7	9.1	37.5	36.4	31.6	10.0
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。